

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

景観まちづくり課 (内線: 7363)

2 目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 景観まちづくり推進リーダー養成研修事業	950	0	950				950	
トータルコスト	2,564千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	企画、連絡調整、研修会開催							
工程表の政策目標(指標)	地域資源を活用したまちづくり実施地区数の増 (100地区) 景観まちづくり活動に取り組む団体数の増 (125団体) 景観行政団体 (市町村) 数の増 (8団体)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

地域の特性を生かした景観まちづくり活動を進めていく上で不可欠なリーダーを養成する。

2 主な事業内容

地域の景観まちづくりの核となる人材を育成するため、景観まちづくりの必要性・基礎的な知識及び実践のノウハウ等を学んでもらう研修会を開催

(1) 対象

景観まちづくり活動団体のリーダー又はリーダーとして期待される人及び市町村の担当職員

(2) 募集人員 40人程度

- ・活動団体リーダー等の活動推進意欲者 20人 (募集方法: 団体推薦及び公募)
- ・市町村の担当職員 20人

(3) 内容

景観まちづくりの必要性・基礎的な知識及び実践のノウハウ等を学ぶ。

【内容の例】 (全5回)

第1回	景観の専門家に学ぶ、景観法の趣旨、景観形成の必要性、景観整備のポイント (ア) 景観の基礎 (景観とは何か、景観法の趣旨、景観形成の必要性など) (イ) 景観整備のポイント (温泉地・湖・観光地などの滞留拠点や道路など)
第2回	観光カリスマが語る、景観まちづくり活動の必要性 等
第3回	県内の景観まちづくり実践者による体験談・失敗談、まち歩きの実施
第4回	景観まちづくりの整備手法を学ぶ (整備手法の例: 地区計画、景観計画、住民協定による街並み環境整備事業)
第5回	地域の景観まちづくり計画の作成演習、発表

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成20年度から景観まちづくり活動団体に対し各種支援を行う景観まちづくり活動団体サポート事業を実施。
- この事業を通じ、リーダーやその後継者がいない、リーダーやその候補者がノウハウ不足の不安を抱えているなどの声をきき、リーダーの養成研修を実施する。